下松工業会報
平成23年7月1日　第42号

社団法人　下松工業会
〒744-0012　下松市北斗町12番4号
事務局　下松工業同窓会館
TEL（0833）43－1336
FAX（0833）41－7448
URL:http://www.kudakokai.org
E-mail:kogyokai@triton.ocn.ne.jp

新法人移行への取組み

会長　河　村　正　浩
（C39）

３月11日の東日本大震災において被災された会員の皆様方に先ずお見舞い申し上げ、１日も早く正常な生活ができますことを心よりお祈り申しあげます。

さて、昨年の総会において会長を拝命し、あっという間の１年間でした。この間、多くの課題に取組んで参りました。中でも最も傾注したのが、法改正による新法人・一般社団法人への移行申請準備と母校創立90周年事業への取り組みです。お蔭をもちまして、新法人への移行については今回の総会において、新定款並びに新会計基準による収支決算書・予算書等の承認を頂くことができました。又、90周年事業につきましては、着々と準備を進めており、目下、目標達成に向けて募金活動を進めているところです。以下、新法人への移行についてご報告します。

一般社団法人への移行申請への取り組み

１．経　　過

平成21年８月に公益法人制度改革推進委員会を発足しました。しかし、しばらくは法改正による公益法人制度の概要や公益法人会計基準の運用指針について学習し、更に講習会に参加し、一方で、主務課である山口県学事文書課と事前協議をするといった日々でした。平成22年８月頃から久保田顧問を中心に新定款に着手しました。また、新会計基準による収支決算書・予算書等も石津嶺祐氏（M28）や神田佳郎氏（M41）のご協力を頂きました。出来上がったものを当局に提示する、指摘箇所を修正し再度提示するといった繰り返しでした、当局の指摘は大変厳しいものでした。その理由は、現在県下には高校の同窓会が８法人あり、当会をそのモデルにしたいがためとのことでした。

２．主な改正点

従来と大きく変ったことは、公益的事業を展開しなければならないことです。そこで、「目的」の項について「本会は、下松工業高校における生徒の資質向上及び教育の振興に向けた支援並びに会員相互の交流を図り、工業高校教育の充実発展に寄与することを目的とする」と、その公益性を明確にしました。

また、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律では、総会の決議には総会員の過半数の出席が必要です。しかし、現在、工業会会員としてご協力頂いている会員は1／5以下、2000人に足りません。これでは総会が成立しませんし、法人として成り立ちません。

これまでは、卒業と同時に下松工業会会員でしたが、新法人移行後は、「下松工業高校を卒業した者で、この法人の事業に賛同して入会した者（年間会費納入者）」が会員となります。但し、会報については、会員を対象とした従来様式のものと、全卒業生を対象とした新聞様式の年２回の発行を考えております。

３．今後の予定

これから各規定集の作成、資産評価、更に申請に必要な書類や記録類の整備をします。そして年内に申請をし、来年４月１日付けで登記することを先ず目標にしたいと思っております。

おわりに

90周年についてはすでにご案内の通りですが、募金活動が今ひとつです。スムースな事業展開のためにも引き続きご協力のほどお願い申しあげます。

本会の運営はかってとは異なり、会館収入が激減しております。運営はあくまで会費が中心です。本会の目的・意義を改めて再認識して頂き、１人でも多くの方に参加して頂きますよう心からお願い申しあげます。

地域や伝統 文化を学ぶ

校長　村　上　正　美

社団法人下松工業会の皆様方には、本校教育の発展に多大なご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年度全・定164名の生徒が卒業し、新たに同窓会の仲間に入れていただきました。工業会の皆様が、様々な分野でご活躍されていることに対し、深甚なる敬意を評します。

山口県教育委員会から教育ビジョン第３期重点プロジェクト推進計画が示され、教育活動展開に当たっての３つの基軸が定められています。

★キャリア教育
★コミュニケーション能力を育む教育
★地域や伝統、文化を踏まえた教育

この３つを縦糸に、生徒の状況と時代や社会の変化に対応した創意工夫を横糸として織り込んだ教育活動を展開しています。

「下松市はものづくりのまち」と言われますが、本校創立者　久原房之助翁の意思と、地域の伝統を継承し、ものづくりを中心とした教育に取り組んでいます。３年生の課題研究の発表会では、同窓会長様をはじめ、事務局や企業の方々にご来校いただき、ものづくりの成果を発表し、多くの助言をいただきました。技能検定の取得者も年々増加し、各種ものづくりコンテストでも多大な成果を挙げています。詳しくは、母校だよりのページをご覧ください。

また、本校の創立記念日（10月15日）には、一昨年度は日立製作所の萩原様（システム機械科卒）に講演をしていただき、技能オリンピック金メダル受賞の喜びと苦労について、教えてもらいました。

昨年度は、アルミ合金のチェロで有名な、山下工業所の山下前社長の講演を聞かせていただきました。新幹線の先頭構体の三次元曲面成形の打ち出し板金技術とものづくりに携わる心構え等をご教授いただきました。

一昨年、下松市制70周年記念式典が有りました。地域や伝統、文化を踏まえた教育を推進することから、学校の位置する下松市について、振り返ってみました。毎年、定時制が笠戸島はなぐり海岸で開催されるマリンイカダレースに取り組んでいます。下工弁慶号のイカダによりデザイン部門で優勝して以来、２位に甘んじていましたが、昨年度５年ぶりに優勝しました。この笠戸島に佐々木小次郎が宮本武蔵を追って、九州に下る途中立ち寄り、小次郎が笠を松の枝に掛けた「笠かけの松」があり、石碑が残っているということを初めて知りました。また、スターピア・下松の緞帳「星々の門」は、星の降臨とギリシャ神殿の列柱と希望の光の３つをイメージした金色の柱によって「星ふるまち下松」を表し、光ファイバーによる演出では、地名の由来の松に降る大星の動きを表現しているとあります。何故星ふるまちなのかと思っていましたが、次のような伝説があると書いてあります。

推古天皇の頃、松の木に大星がふり、７日７夜、光り輝き、「百済の皇子がこの地へやって来る」というお告げがなされ、「星が降った松」が「降り松」となり、「下松」になり、金輪神社にある「鼎の松」は、星が降った松の子孫と伝えられているそうです。その他、末武村出身の長岡外史や花岡八幡宮、稲穂祭「きつねの嫁入り」など歴史・文化が沢山あります。

以前７年間勤務し、このたび４年目を迎え、計11年下松の地で勤務しながら、案外地元のことを知らないものだなと思いました。下松市で小・中・高と過ごした生徒は果たしてどのくらい自分達の故郷のことを知っているのでしょうか。やはり様々な機会をとらえ、「笑い・花・童謡」の星ふるまち下松の伝統、文化を踏まえた教育を展開する必要があるのではないかと思います。

いよいよ、今年は創立90周年の年を迎えることとなりました。就職状況の大変厳しい時ではありますが、時代の変化に敏感に対応しつつ、工業会の皆様の築かれた伝統を引き継ぎながら、「天下の下松工業」の名を汚さぬよう、そして、素晴らしい生徒を世に送り出せるよう、工業教育に邁進いたします。

今後とも変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げますとともに、社団法人下松工業会のご発展と、皆様方のさらなるご活躍を心からお祈りいたし、ご挨拶とさせていただきます。

平成23年度定時総会報告書

定時総会

1．開催の日時及び場所

平成23年５月21日（土）13時～14時

下松市大字西豊井1247番地（下松駅南）

きらぼし館（きらぼしホール）

2．会員の現在数　　10,662人

出席会員数　　2,022人

うち出席者　　144人

書面議決者　　1,878人

3．議　　事

１号議案　平成22年度　事業報告

２号議案　平成22年度　決算報告並びに監査報告

３号議案　平成23年度　事業計画(案)

４号議案　平成23年度　予算(案)

５号議案　新定款(案)について

4．総会の経過

1）議長は周南支部岸村敬士氏（電気科　昭和41年卒）が選出された。

2）議事録署名人並びに書記指名　岸村議長は、定款８条により下記の者を指名した。

議事録署名人	機械科	昭和30年卒	林　洋司
	機械科	昭和36年卒	山本　和男
書　　記	工業化学科	昭和46年卒	久野　隆弘

3）議事の経過の概要

１号議案と２号議案は関連するので一括提案した。なお、公益法人制度改革に伴うことから、今年度会計から新会計基準を採用の説明があった。西林伸治監事が報告し満場一致をもって承認可決された。

３号議案と４号議案も一括して提案の上、満場一致をもって原案どおり承認可決された。

５号議案新定款(案)について、公益法人制度改革に伴う、新定款(案)の説明が河村会長より、説明があり、議長は可否を諮ったところ、原案どおり承認可決された。

記念講演

総会に引き続き、土谷康夫氏（M42）が、「走る苦しみと学ぶ悦びを味わう」と題して記念講演を行った。土谷氏は下松市のご出身で母校卒業後日本鋼管㈱（現：JFE）入社され、一研究補助員から、実績が認められ、工業高校卒で工学博士の学位を得られた。講話の中で、マラソンにたとえながら、人生を走り続けたから今日があるのだ。希望を持ち続けることこそ大事と、そんな気持でもって現在も世界中のマラソン大会に出場されていると講話に実感がこもった。お話頂き、普段聞くことのできない大変興味深い講演だった。参加者一同熱心に聴講された。

1号議案　平成22年度事業報告

1．主要事業

（1）組織の充実と強化

・定時総会開催並びに14支部総会への出席
（5月15日　146名、きらぼし館）

・拡大役員会の開催（5月、32名。12月、38名）

・母校文化祭への参加（11月20日）
母校吹奏楽演奏に参加　吹奏楽OB
C39　大田六郎
俳句・川柳（同窓生選者展示）
キノコ写真展（M34　黒田義則）

・同窓会入会式（2月28日）、新入会員 164名
（下松工業会会長賞授与式）

（2）広報活動

①会報の充実

・会報No41号発行（7月10日　10,434名）
クラス会の紹介他

②ホームページの充実

・バナー広告　9社契約継続

（3）文化、レクリエーション活動

・定時総会で講演会の実施：「異文化理解への道」　野中　耕一　（C27）

・第19回七彩ゴルフ大会（70名、10月6日）、麻雀大会（28名、2月6日）、親睦ボウリング大会（45名、3月8日）の実施

（4）調査研究委員会の開催

①会費及び会館収益向上のための方策検討

・前年度に引き続き会報は全会員に発送し、会費納入の啓蒙に努めた。

②財政向上のための事業への取り組み

・会報へ会員企業に広告を記載（10社）

（5）下工ビジネスネットワーク（略称＊BNW）
平成19年から活動してきたが、初期の目標を達成したと考え、理事会の承認のもと、本年4月末をもって解散した

（6）育英奨学金事業　3名　交付（給付額・給付対象者数・期間を改訂）

（7）第3回母校吹奏楽演奏会への助成（3月19日）スターピアくだまつ
文化体育基金　100,000円
文化体育基金（課題研究支援）100,000円

（8）公益法人制度改革への対応について
公益法人制度改革推進委員会の開催
移行計画の日程の設定（平成23年12月申請予定）

（9）母校創立90周年記念事業準備委員会の開催（1回）

（10）財産の採納（寄附）
胸像（3体）母校　平成22年12月3日付
山口県

2号議案　平成22年度決算報告並びに監査報告

一般社団法人への移行により貸借対照表を掲載

貸借対照表
平成23年3月31日

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ資産の部			
1流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	3,808,047	3,452,971	355,076
90周年記念基金	6,301,197	4,224,779	2,076,418
未収金	0	0	0
流動資産合計	10,109,244	7,667,750	2,431,494
2固定資産			
(1) 基本財産			
大和証券公社債	9,500,000	9,500,000	0
野村證券公社債	7,200,000	7,200,000	0
基本財産合計	16,700,000	16,700,000	0
(2) 特定資産	0	0	0
退職給与引当資産	0	0	0
特定資産合計			
(3) その他の固定資産			
建物	1,410,049	1,410,049	0
空調設備	462,365	518,765	△56,400
工具器具備品	207,613	313,613	△106,000
土地	18,544,252	18,544,252	0
胸像	0	2,500,000	△2,500,000
その他の固定資産合計	20,624,279	23,286,679	△2,662,400
固定資産合計	37,324,279	39,986,679	△2,662,400
資産合計	47,433,523	47,664,429	△230,906
Ⅱ負債の部			
1流動負債			
未払金	0	0	0
流動資産合計	0	0	0
2固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計			
Ⅲ正味財産の部			
1指定正味財産			
指定正味財産合計	16,700,000	16,700,000	0
（うち基本財産への充当額）	16,700,000	16,700,000	0
（うち特定財産への充当額）	0	0	0
2一般正味財産			
一般正味財産合計	30,733,523	30,964,429	△230,906
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定財産への充当額）	0	0	0
正味財産合計負債	47,433,523	16,700,000	30,733,523
負債及び正味財産合計	47,433,523	47,664,429	△230,906

監査報告

平成22年度社団法人下松工業会会計、基金会計、90周年記念基金について関係帳簿及び証拠書類を照合した結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成23年4月11日

社団法人下松工業会　　監事　西林伸治
監事　濱谷和昌
監事　蔵田幸男

3号議案　平成23年度事業計画

1．組織の充実と強化

・既存支部の充実を図ると共に、支部のない地域での支部発足を目指す。

2．広報活動

・会報No42号発行。

・ホームページはコミュニケーションの場として、維持管理の充実を計る。

3．母校生徒支援事業

・育英奨学金事業（６名）

・文化体育活動支援事業

4．公益法人制度改革で一般社団法人への移行推進

・申請時期　平成23年12月　目標

5．調査研究委員会の開催

・母校90周年記念事業募金目標額確保

6．文化、レクリエーション活動

・記念講演は引き続き行い、会員のニーズに沿ったものを実施する。

・ゴルフ、ボウリング、麻雀大会の実施。

7．母校創立90周年記念事業

創立90周年記念事業

1．記念事業

（１）記念式典（平成23年11月18日）

（２）同窓会記念祝賀会（平成23年11月26日）
　　ザ・グラマシー
　　15：00～18：00

（３）90周年記念ゴルフコンペ（平成23年10月５日）
　　中須ゴルフ倶楽部

（４）記念事業

①図書・吹奏楽器等の充実　250万円

②記念講演（日時・会場は未定）　150万円

③諸事業・事務費　150万円

④下松工業会館の補修工事　250万円

2．募金

（１）募金目標額　800万円

（２）募金額　１口　2,000円（１口以上）

（３）募金期間　平成22年7月10日～平成23年9月末日まで

◎総会へ出席されなかった方で、総会資料を希望される方は事務局までご一報下さい。お送りします。

4号議案　平成23年度予算

収支予算書

（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（単位：円）

科　　目	当年予算額	前年予算額	増　減
Ⅰ事業活動収支の部			
１事業活動収入			
基本財産運用収入	100,000	111,432	△11,432
基本財産利息	100,000	111,432	△11,432
同窓会収入	6,356,950	11,323,397	△4,966,447
入会金	805,000	820,000	△15,000
年会費	1,700,000	1,700,000	0
運営基金	520,000	570,000	△50,000
その他の収入	1,262,450	233,397	1,029,053
90周年記念基金	1,700,000	8,000,000	△6,300,000
交流会会費	369,500	0	369,500
工業会館収入	2,751,600	2,851,600	△100,000
使用料	900,000	1,000,000	△100,000
賃貸料	1,851600	1,851,600	0
雑収益	40,000	600	39,400
雑収益	40,000	600	39,400
事業活動収入計	9,248,550	14,287,029	△5,038,479
２事業費活動支出			
事業費：会館運営費	5,858,957	2,835,000	3,023,957
給料手当	1,400,000	1,400,000	0
共済費	30,000	30,000	0
公租公課	380,000	380,000	0
保険料	45,000	45,000	0
電話料	170,000	170,000	0
電気料	300,000	300,000	0
上下水道料	30,000	30,000	0
ガス料	20,000	20,000	0
需用費	673,957	150,000	523,957
営繕費	2,700,000	200,000	2,500,000
委託料	110,000	110,000	0
管理費：会務運営費	9,638,589	3,473,000	6,165,589
給料手当	470,000	470,000	0
会議費	150,000	150,000	0
旅費	180,000	180,000	0
慶弔費	185,000	185,000	0
会報費	500,000	500,000	0
通信費	750,000	750,000	0
事務費	1,800,000	300,000	1,500,000
移行事業費	500,000	450,000	50,000
行事費	1,973,589	150,000	1,823,589
表彰費	20,000	20,000	0
記念品料	50,000	50,000	0
育英奨学金	360,000	168,000	192,000
文化体育活動事業助成金	2,700,000	100,000	2,600,000
事業活動支出計	15,497,546	6,308,000	9,189,546
事業活動収支差額	△6,248,996	7,979,029	△14,228,025
Ⅱ投資活動収支の部			
１投資活動収入			
退職給与引当資産取崩収入	0	0	
投資活動収入計	0	0	
２投資活動支出			
固定資産取得費	0	0	
車両取得費	0	0	
備品取得費	0	0	
退職給付引当預金繰入	0	0	
投資活動支出計	0	0	
投資活動支出差額	0	0	
Ⅲ財務活動収支の部			
１財務活動収入			
一時借入金収入	0	0	
財務活動収入計	0	0	
２財務活動支出			
一時借入金支出	0	0	
財務活動支出計	0	0	
財務活動収支差額	0	0	
Ⅳ予備費支出の部			
１予備費支出			
予備費	100,000	140,000	△40,000
予備費支出計	100,000	140,000	△40,000
当期収支差額	△6,348,996	7,839,029	△14,188,025
前期繰越収支差額	10,109,244	7,677,750	2,431,494
次期繰越収支差額	3,760,248	11,292,000	△7,531,752

公益法人制度改革に伴う新定款について

一般社団法人　下松工業会定款

新定款については一般社団法人及一般財団法人に関する法律に基づいたもので、公益的事業の展開が必須となる。本議案については紙面の都合上変更点のみ掲載する。

第２章　目的及び事業

（目　　的）

第３条　この法人は、下松工業高校における生徒の資質向上及び教育の振興に向けた支援並びに会員相互の交流及び啓発を図り、工業高校教育の充実発展に寄与することを目的とする。

〔解説〕旧３条は「本会は、工業技術者としての資質を高め、多様化する産業に対処し、その振興に寄与することを目的とする。」であった。そこで、母校支援を主とする工業高校教育の充実発展を目的とすることで、公益性を明確にした。

（事　　業）

第４条　次の２項が変更された。

⑴　生徒への支援並びに教育及び工業技術の振興に関する事業

⑵　会員相互の交流と啓発に関する事業

〔解説〕旧４条は、１号 育英事業、２号 工業教育並びに技術に関する調査研究であったが、母校に対し幅広く対処できるよう、また、２号はより現実的にした。育英奨学事業は１号に含まれる。

第３章　会　　員

（法人の構正員）

第５条　この法人は、次に掲げる者のうち、この法人の事業に賛同して入会したものとする。

⑴　山口県立下松工業高等学校（旧制すべて含む、表記一部省略）を卒業した者。

⑵　下松工業高等学校教職員又は教職員であった者。

〔解説〕これまでは卒業生即下松工業会会員であったが、卒業生の内、この目的や事業に賛同する者のみが入会することとなった。現在、１万余名の会員を擁すが、実際に会員としてご協力頂いている方は２千名弱である。新定款では会員の過半数の５千名以上の出席（第18条、委任状含む）がなければ総会は成立しない（従来は20分の１）。現状では法人とはなり得ないのである。以下、６条による。

（会員の資格取得）

第６条　この法人の会員になろうとする者は、入会金及び会費を添えて、理事会の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

〔解説〕旧７条の「入会金及び会費」の項に、新たに追加。入会は入会申込書でもって行うこととなる。

（会員資格の喪失）

第10条　⑷会費を１年以上滞納したとき。（旧８条に追加）

第４章　総　　会

（旧定款では「会議」であったが、「総会」と「理事会」に分離された）

（権　　限）

第13条　総会は、次の事項について決議する。

⑴　会員の除名

⑶　理事及び監事の報酬等の額

⑷　貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）

⑹　解散及び残余財産の処分

〔解説〕旧第25条に新たに追加された事項である。

（決　　議）

第18条　総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、総会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数でもって行う。

２　前項の規定にかかわらず、次の決議は、総会員の半数以上であって、総会員の議決権の３分の２以上にあたる多数でもって行う。

⑴　会員の除名

⑵　監事の解任

⑶　定款の変更

⑷　解散

⑸　その他法令で定められた事項

３　理事又は監事を選任する議案を決議する場合には、各候補者ごとに第１項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数（理事10名以上15名以内、監事３名）を上回るときは、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

〔解説〕旧第26条では「総会の定足数は正会員総数

の20分の１とする」が「総会員の議決権の過半数以上」に法的に改まった。２項の「総会員の議決権の３分の２以上に」という規定は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の（社員総会の決議）第49条による。２項２号及び３項は新たに追加された。

（議決権の代理行使）

第20条　会員は、委任状その他の代理権を証明する書面をこの法人に提出して、代理人によって議決権を行使することができる。

〔解説〕代理人でもよいことが追加された。

第５章　役　　員

（役員の設置）

第22条

３　前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び専務理事をもって同法91条第１項第２号の業務執行理事とする。

〔解説〕副会長及び専務理事の権限及び責任の明確化。

（役員の任期）

第27条

２　監事の任期は、選任後４年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

〔解説〕旧定款での監事は第15条（役員の職務）理事の職務と共に規定されていたが、第26条で「監事の職務と権限」が独立し、より明確強化された。それに伴い、理事の任期は２年であるが監事は４年となった。

第６章　理　事　会

（決　　議）

第34条　理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

〔解説〕「利害関係を有する理事を除く」が追加。

第７章　資産及び会計

（事業報告及び決算）

第38条　この法人の事業報告及び決算については、毎年事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第１号及び第２号の書類についてはその内容を報告し、第３号から第５号までの書類については承認を受けなければならない。

⑴　事業報告

⑵　事業報告の付属明細書

⑶　貸借対照表

⑷　損益計算書（正味財産増減計算書）

⑸　貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の付属明細書

２　前項の書類ほか、監査報告を主たる事務所に５年間備え置くとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に備え置くものとする。

〔解説〕従来、事業報告は総会の承認を得ていたが、報告のみでよい。しかし、今後は、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）のみならず、その付属明細書についての承認が必要となる。

第８章　公告の方法

（公告の方法）

第42条　この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

〔解説〕公告は事務所掲示及びホームページとする。

廃止した事項

・支部〔旧定款　第５条（支部）及び第20条（支部の運営）〕

　新法人では、本部と支部を連結とした決算書、本部及び支部ごとの決算書の作成が必要となる。また、県外の支部については各都道府県への登録が必要となるため、敢えて削除した。旧定款では、支部会費（本部への上納）についての決まりはなく、一部の支部では本部事務局に代わって会費を徴収して頂いている。活動は会員の親睦が主たるものであり、財務的に本部とは何ら関わりはない。つまり、法的には特に問題ないが、当局の誤解を避けるために、今後は内規でもって対処する。

・幹事〔旧定款　第12条（役員の設置）６号及び第15条（役員の職務）６項〕

　幹事は法的に根拠がないため削除。但し、各クラス会等の世話人として、内規でもって対処する。

次の項は総会で、口頭で提案し、一応承認は得たが、専務理事により県に確認する。来年の総会で決定可であれば入れる必要なし。

総会

平成23年５月21日

総会前に母校吹奏楽部が演奏

下松市長祝辞：井川成正殿

議長：岸村敬士氏（E41）

会長挨拶：河村正浩氏

母校校長挨拶：村上正美先生

事務局 梶尾専務理事　総合司会 柳知明氏（E44）

受　付

記念講演：土谷康夫氏（M42）

乾杯：亀田成文氏（C18）

オカリナ：江村克己氏（M34）

懇親会スナップ

スピーチ：荒谷実貴男氏（C22）

校歌

締め：宝迫一郎氏（M14）

母校だより

【全日制】

今年度は下松工業高校創立90周年の記念の年にあたります。同窓会の皆様には、節目の年を迎え、忙しく活動されていることと思います。また、日頃から物心両面のご協力をいただくとともに、多くの方に、諸行事にご参加をいただきました。感謝しております。

22年度末の異動により、11名の教職員が転出入しました。また、４月８日には160名の新入生を迎えることができました。

学校運営面においては、ひきつづき学校評価（自己評価、生徒や保護者による外部評価、生徒による授業評価）を実施しています。19年度より学校の目標及び到達状況、課題等を示した学校自己評価書を作成しています。その中で学校評議員５名と保護者代表３名を加えた８名の学校関係者評価委員会にこの学校評価書を提示し、評価を頂きました。この会の委員長は一昨年度までの３年間、同窓会の槌尾様にお引き受け頂き、多くの貴重な意見を伺いました。昨年度から新たに、河村同窓会会長をはじめ、３名の同窓会員の方に学校評議員として、ご協力を頂いております。今年度の学校教育の改善に繋げ、さらに伝統ある質の高い下松工業高校の教育を目指していきたいと思っています。また、自己評価書の内容につきましては学校のホームページに掲載しています。多くの同窓生の厳しく、温かいご意見をお寄せいただければと願っております。

学習面においては、基礎学力を補うためのステップテストの実施や危険物取扱者乙種をはじめ各種資格検定に臨み、40名以上の生徒が卒業時に山口県高等学校等職業教育技術顕彰やジュニアマイスター顕彰を受けることができました。また、高校生ものづくりコンテスト山口県大会においては、化学分析部門第１位、２位、中国大会第３位でした。電子回路組立部門は県大会第１位、２位、中国大会第４位となりました。

生徒の課題研究発表会は、２月に本校体育館にて実施しました。同窓会、地元の企業の方、中学校関係者（教員、生徒、保護者）等多くの皆様にご来校いただき、感謝しております。

部活動における、昨年度の結果は表の通りです。運動部ではハンドボール部の国体優勝。剣道部、弓道部、登山部が夏の全国高校総合体育大会に出場しました。また、東日本大震災の影響で大会は中止になりましたが、ハンドボール部、剣道部、弓道部が全国選抜大会の出場権を獲得しました。中国大会では、ハンドボール部、弓道部の優勝、登山部団体２位、剣道部団体３位などの成果を上げることができました。現在、各部とも５月下旬から始まる県高校総体に向けて一層の練習に励んでいるところです。すでにハンドボール部は中国大会で優勝し、剣道部、弓道部も中国大会出場を決めています。また、文化部では全国高校総合文化祭に写真部が出展し、文芸部は高校生文芸道場中国ブロック大会にて優秀賞を受けました。

それぞれの種目で、中国大会、全国大会出場をめざして頑張っています。今年度こそは各種目とも、全国大会で上位入賞してくれることと、願っております。

【進路状況】

今春卒業した生徒の進路状況は下記の表の通りです。一昨年からの世界的な金融ショックの影響を抜け出せず、求人数は408人、求人倍率3.3倍という厳しい状況になりました。就職者数は全体の78%、その８割が県内企業に就職することができました。これも同窓生、諸先輩のこれまでのご活躍、ご努力のお陰と、心より感謝いたしております。また学校においてもキャリア教育の一環としてインターンシップや先輩による講演会を実施しました。同窓の方々の貴重な体験や講話を伺うことのできる事業を行い、生徒にとって大変ためになる機会となりました。今年は創立90周年の記念事業の中で講演等の実施が計画されています。その折りは宜しくお願い致します。

最後になりましたが、ひきつづき、社会に有為な人材を輩出するために努力していきます。学習においては、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、生徒指導面においては、自尊と惻隠の心の育成に重点を置いた指導を、教職員の協働体制の基に、行いたいと思っております。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

部活動及びものづくりコンテスト等の主な成績

（平成22年４月～平成23年３月）

【部活動】

〈運動部〉全国大会　☆ハンドボール部（全国選抜出場権獲得、国民体育大会優勝５名出場）

☆剣道部（高校総体個人出場、全国選抜大会出場権獲得）

☆弓道部（高校総体男子個人出場、全国選抜大会男子個人出場権獲得）

中国大会　☆ハンドボール部（優勝）

☆弓道部（男子団体優勝、個人出場）

☆剣道部（団体３位、個人出場）

☆登山部（団体２位）

☆ソフトテニス部（個人出場）

☆柔道部（団体、個人出場）

〈文化部〉全国大会　☆写真部（全国高校総合文化祭出展）

中国大会　☆文芸部（高校文芸道場優秀賞）

【ものづくりコンテスト等】

◎電子回路組立部門（情報電子科出場）県大会１，２位、中国大会４位

◎化学分析部門（化学工業科出場）県大会１，２位、中国大会３位

◎ジャパンマイコンカーラリー中国地区大会出場

進路状況（平成23年3月卒）

区別		ｼｽﾃﾑ機械	電子機械	情報電子	化学工業	合計	%
卒業者		39	40	39	39	157	
進学	大学	4	1	4	1	10	
	短大・高専	0	0	2	0	2	
	専門学校等	2	8	6	6	22	
	その他	0	0	0	0	0	
	合計	6	9	12	7	34	21.7
就職	企業	32	30	27	28	117	
	自己・公務員等	0	1	0	4	5	
	合計	32	31	27	32	122	77.7
他	その他未定	1	0	0	0	1	0.6

【定時制】

定時制の部活動　健闘光る！

＜昨年の全国大会県予選の結果＞

軟式野球部は、西中国大会へ

柔道部は、全国大会へ出場

平成22年６月に行われた定時制通信制の全国大会山口県予選会で、本校の各部が大活躍しました。

軟式野球部は、県予選で下関工業に６対３で勝利し優勝しました。翌週、西中国大会では広島県代表『師友塾高校』と全国大会の出場権をかけて対戦し、先制したものの１対８で逆転を許し、全国大会出場は叶いませんでした。柔道部は、男子団体として２名、女子個人として２名が、それぞれ山口県予選会を勝ち抜き、念願の全国大会の切符を手にしました。

今年も、各部とも全国大会での活躍を目指して練習に余念がありません。皆様方からの御支援・御声援を賜りますようお願いします。

＜今年の全国大会県予選の日程等＞

日時　平成23年６月11日（土）　９：30～

会場　山口高等学校他

種目　軟式野球、柔道、卓球

＜笠戸島マリンイカダレース・デザイン部門で優勝！＞

平成22年８月29日に開催された笠戸島マリンイカダレースでは、「下工弁慶号Ⅵ」と命名された本校定時制のイカダが、デザイン部門の60チーム中で、見事に優勝しました。NHK大河ドラマ「龍馬伝」を題材に、テーマを「下工龍馬伝」として４年生の課題研究の成果を発表したものです。今年度は東日本大震災に伴い、大会が中止となったため、次年度には更に完成度を高めた作品づくりに努め、連覇に向けてチャレンジする予定です。

＜進路状況＞

今春の卒業生は７名。うち２名は県外の専門学校に進学し、他５名は就職しました。

県内製造業等	県内サービス業	進学	卒業生の総数
２名	３名	２名	７名

製造業に就職した２名については、本校で４年間にわたって学んだ工業に関する知識と技能を生かしながら、社会人として大いに活躍してくれるものと期待しています。

＜生徒の状況＞

今年度は、生徒数31名（うち女子４名）でスタートしました。学校全体の雰囲気としては、以前にも増して落ち着きをもって学習活動、部活動等に取り組んでおり、資格取得等にも果敢にチャレンジしています。昨年度の危険物取扱者試験（乙４）には、６名受験中、５名が合格し、合格率83％という良い成果を挙げることができました。

【生徒の在籍数】　（H23.４.１時点）

１年	２年	３年	４年	計
８名（１）	10名（１）	８名	５名（２）	31名（４）

（　）数は女子生徒数

運営基金御礼

下記の方々より、ご協力を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。この募金は引続き募集いたしますので、何卒、ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成22年４月１日～平成23年３月31日

卒年	氏名	寄附額
日本ゼオン支部		5000
柳井支部		4000
M8	北村　佐一	1000
M9	中屋　正二	2000
M12	有間　　緑	3000
M14	山本　尚布	1000
M14	森重　　明	1000
M15	中村　清一	1000
M16	藤田　　惠	1000
M16	田中　　博	1000
M16	橋本　三男	1000
M16	沼本　正治	1000
M16	中岡　浩史	1000
M16	原田　治幸	1000
M17	石原　佳雄	10000
M17	戸村　勝信	1000
M17	谷口　文男	1000
M17	西川　春雄	1000
M17	三木　　學	1000
M18	田村　克巳	1000
M18	竹村　一郎	1000
M18	原田　　務	1000
M18	松原　　進	1000
M18	西本　六夫	1000
M19	平岡孝次郎	1000
M20	白石　直人	1000
M20	加藤　清彦	1000
M20	益田弘三郎	2000
M20	内富　英穂	1000
M20	中川　　陽	2000
M20	内山　　猛	1000
M21	嶋田　隆雄	1000
M23	近棟　昭久	1000
M23	須磨　祐一	1000
M23	厚井　正毅	1000
M23	武居　恒夫	1000
M23	藤原　　肇	1000
M23	徳本　儀一	1000
M23	清水　　修	1000
M23	山田　信義	1000
M24	田中　正志	1000
M24	和泉　友晴	1000
M25	岡村　信男	1000
M25	沖本　洋始	1000
M25	小林　　徹	5000
M25	松本　輝之	1000
M25	弘中　辰男	1000
M25	岩本　正孝	2000
M25	小林　　正	1000
M25	藤井　芳男	3000
M26	金近　　栄	1000
M26	大中　高次	1000
M26	木村　政美	1000
M26	松本　憲治	1000
M26	守富　　慧	1000
M26	平谷　友治	2000
M27	浅田　　勇	1000
M27	原田　二郎	1000
M27	川端　　修	1000
M27	浅本　宣之	1000
M27	清水　英雄	1000
M27	山時　英男	1000
M27	田村　英之	2000
M27	相本　晴信	1000
M27	福田　善美	1000
M28	島田　昭治	2000
M28	国重　保之	1000
M28	大川　　洵	1000
M28	矢野　英晴	1000
M28	松永　幹生	2000
M28	守田　利男	1000
M28	戸村　　武	1000
M28	藤元　正俊	1000
M28	橋本　育茲	1000
M28	小川　荘六	1000
M29	足立　　元	2000
M29	片山　忠義	1000
M29	柳　　芳男	5000
M29	鹿村　佳之	1000
M30	山村　茂晴	1000
M30	米田　嘉一	1000
M30	松田　正之	1000
M30	小林　克巳	1000
M30	小林　信之	1000
M30	山井　岩良	1000
M30	原田　　明	1000
M30	中原　俊彦	1000
M30	金本　信吾	1000
M30	飴谷　一郎	1000
M30	宮本　春美	1000
M30	二町　健二	1000
M31	早川　元夫	1000
M31	宮本　光泰	2000
M31	原田　靖國	1000
M31	廣中　　勲	1000
M32	武田　一雄	2000
M32	管　　貞夫	1000
M32	岡村啓一郎	1000
M32	鶴田　　守	1000
M32	山根　紀明	1000
M32	有吉　洋勝	1000
M32	原田　利彦	1000
M32	吉村　良人	1000
M32	斉藤　正行	1000
M32	藤中　健次	1000
M33	長谷川春雄	1000
M33	中野　和孝	1000
M33	林　　修	1000
M33	広戸　一見	2000
M33	山崎　利彦	1000
M33	吉永　俊明	1000
M33	東南　　浩	1000
M33	河野　　清	1000
M34	杉尾　栄治	1000
M34	久保田浩文	1000
M34	宮本　照夫	4000
M34	田村　鞆利	1000
M34	佐々木勝紀	1000
M34	宮川　　豊	1000
M34	山本　和昭	1000
M34	池本　幸一	1000
M34	廣永　龍男	1000
M34	江村　克己	3000
M34	山中　友義	1000
M34	林　　亨	1000
M35	橋本　暢公	1000
M35	三秋寿見郎	1000
M35	藤川　悟義	1000
M35	山縣　健治	1000
M35	安田　　務	1000
M35	常森　宣彦	1000
M35	海野　征夫	1000
M35	村田　雄司	1000
M36	三原　一彦	1000
M36	小川　博己	1000
M36	山本　和男	1000
M36	福谷　輝雄	1000
M36	松原　邦夫	1000
M36	小川　博己	1000
M36	三原　一彦	2000
M36	村井　俊夫	1000
M37	久本　徳夫	1000
M37	木船　　勲	1000
M37	大田　　昇	1000
M37	大畑　善宏	1000
M37	窪田　史郎	1000
M37	青木　哲郎	1000
M37	藤原松太郎	1000
M37	福田　忠義	1500
M37	河本　信幸	1000
M38	石川　公明	1000
M38	西村　忠夫	1000
M38	池永　文人	1000
M38	山岡　弘幸	1000
M38	守田　照正	1000
M38	藤井　二郎	1000
M38	宮田　勝光	1000
M38	中本　英雄	1000
M38	北中　武徳	1000
M39	中原　　康	1000
M39	道源　勝人	1000
M39	桜井　洋二	1000
M39	鍵谷　郁夫	1000
M39	松田　則光	1000
M40	松井　和則	1000
M40	山本　敏夫	1000
M40	山本　勝一	1000
M40	久冨　鐵夫	1000
M40	中村　丈夫	1000
M40	山本　勝一	1000
M41	船本　秀幸	1000
M41	山根　和敏	1000
M41	山崎　隆生	1000
M41	神田　佳郎	1000
M41	石崎　　昭	1000
M42	福田　　朗	1000
M42	上野　安志	1000
M42	土谷　康夫	1000
M42	岡野　保雄	1000
M42	福島　　操	1000
M43	林　　功	1000
M43	岩崎　寛治	1000
M44	彦坂　敏昭	1000
M44	岩村　　修	1000
M45	清水　早美	1000
M47	徳吉　　忠	1000
M47	村本　博信	1000
M47	松本　俊夫	1000
M47	江島　龍夫	1000
M48	徳原　英昭	1000
M48	中村　久信	1000
M51	門川　光宏	2000
M54	下村　孝宏	1000
M56	久野　茂雄	1000
M61	村瀬　俊治	1000
M61	中倉　清臣	1000

卒年	氏名	寄附額
M63	棟近　英治	1000
MH2	橋本　雅央	1000
MH13	矢野　力	1000
MH15	打越勇喜夫	1000
MH20	森野　裕太	1000
MH21	竹村　一輝	1000
MH21	河添　幸次	2000
MH21	鬼武　伸明	1000
MH21	吉元　崇朗	1000
MH22	東　拓美	1000
C5	河村　一人	1000
C12	吉広　嘉市	1000
C12	金政　武雄	1000
C14	八木　春治	1000
C15	奥野　耕平	4000
C15	年光　盛人	2000
C15	山本眞太郎	5000
C16	上田　健治	1000
C16	高橋　玄	1000
C16	今井　龍一	1000
C16	武重　誠一	1000
C16	國居　栄	1000
C17	長井　稔	1000
C18	亀田　成文	2000
C18	増本　安男	10000
C18	轟　渡	1000
C20	幡部　年信	1000
C20	大上　良一	1000
C20	梅田　強平	1000
C20	小西　守	2000
C20	瀬尾　進	1000
C20	田中　信	1000
C21	小川　馨三	1000
C21	武居　輝二	1000
C21	尾本　文夫	1000
C23	中山　秀夫	1000
C23	岩本　敏規	1000
C23	古谷　秀康	1000
C23	河田　良平	1000
C24	赤瀬　春之	2000
C24	中島　清登	1000
C25	山根　正美	1000
C25	小笠原雄次	1000
C25	武居　博	1000
C26	吉岡　經孔	1000
C26	田代　良也	1000
C26	西本　節男	1000
C26	渡辺　英男	1000
C26	藤谷　智志	1000
C26	山田　進	1000
C27	野中　耕一	6000
C27	藤本　和也	2000
C27	西岡　忠	1000
C27	友森　正信	2000
C28	佐川　雄美	1000

卒年	氏名	寄附額
C28	田中　忠	2000
C28	弘実　法造	1000
C28	金子　剛男	1000
C28	築山　昌史	1000
C28	山本　惇	1000
C28	初岡　憲城	1000
C28	大州　博康	5000
C28	藤田　敏之	2000
C28	伊藤　洋子	1000
C29	下村　和美	1000
C29	原田　正夫	2000
C29	清水　博晴	1000
C29	石村　進	1000
C29	岡　亮宏	1000
C29	中野　利明	1000
C29	阿川　悟	2000
C29	野田　光秋	1000
C29	福永　幸子	1000
C29	池田　昭一	1000
C29	岩本　利彦	1000
C29	有吉　安治	1000
C30	廣中　典夫	1000
C30	戸崎　和夫	1000
C30	佐藤　通	1000
C30	小川　清	1000
C30	渡邉　秀夫	1000
C30	蕗　利彦	1000
C31	小笠原　奨	1000
C31	清木　元博	1000
C31	田村　利明	1000
C32	毎田　俊美	1000
C32	小林　勝	1000
C32	河村　一	2000
C32	宮本　圭子	1000
C32	福田　尚	1000
C32	武居　隆夫	1000
C33	白井　隆行	1000
C33	髙山　佳昌	1000
C33	田中　静子	1000
C33	石川　達紘	10000
C33	鑑光　博正	1000
C33	藤井　敦	1000
C33	椎木　五三	1000
C34	野田　桒典	1000
C34	高村　幸江	1000
C34	林　光恵	1000
C34	新田　寛	1000
C34	大田　孝	2000
C34	橋本　信之	2000
C34	清木　崇	1000
C34	大塚　強夫	3000
C34	松本　勇	1000
C34	田浦　朝子	1000
C34	土肥　敏郎	1000
C34	義松　則行	1000

卒年	氏名	寄附額
C34	髙濱　照彦	1000
C34	中原　悠紀	1000
C34	伊藤　良美	1000
C34	足立恵美子	1000
C34	小林　哲士	1000
C35	岡　登志美	1000
C35	野本　紀久	1000
C35	宇智田俊一郎	1000
C35	岡本　正輔	1000
C35	白倉　稔久	1000
C35	田畑　幸彦	1000
C35	内山　正行	1000
C35	松村　武士	1000
C35	三好　一成	1000
C35	中村　巖	1000
C35	梅本　貞則	1000
C35	中山　哲男	1000
C36	吉谷　勝美	1000
C36	守田　隆司	1000
C36	目　勝三	1000
C36	横道　忠	1000
C36	松村　豪夫	1000
C36	山崎　峻	1000
C36	中野　末郎	1000
C36	竹重　浩佑	1000
C36	宮田　治美	1000
C37	松村　昭憲	1000
C37	槻舘　憲之	1000
C37	藤井　久世	1000
C37	中村　忠士	3000
C37	杉本　勝行	1000
C38	弘中　幸夫	1000
C38	関　信行	1000
C38	守友　健一	1000
C38	山本　一夫	1000
C38	田中　秀雄	2000
C38	松野　瑞輝	1000
C39	丸山　喜三	1000
C39	吉原　和弘	1000
C39	大浦　義明	1000
C39	小田　充	1000
C39	藤本　光	1000
C39	仁科　昭行	1000
C39	久楽　和則	1000
C39	山本　邦雄	1000
C39	西村　秀俊	3000
C39	藤本　光	3000
C39	宝迫　和美	1000
C39	藤田　文明	2000
C39	小松　昭人	2000
C40	栗田　一郎	1000
C40	藤岡　芳雄	1000
C40	二藤部　毅	1000
C40	宮本　新二	1000
C40	山崎　和子	1000

卒年	氏名	寄附額
C40	酒井　光正	1000
C40	粕川　實則	2000
C40	藤井　二郎	1000
C41	垰　輝男	1000
C42	福永知佐子	1000
C42	河野　久治	1000
C42	西村　実	1000
C42	国居　則次	1000
C43	水野　保志	1000
C44	小田　洋子	1000
C44	石田　和久	1000
C44	山本　哲夫	1000
C45	河村　明美	1000
C45	反田　快舟	1000
C45	中村　孝	1000
C47	山本　泉	1000
C47	松原　正雄	1000
C53	今地　昭彦	1000
C56	吉田三世子	1000
CH13	山岡　幸宏	1000
CH13	河野　公彦	1000
E38	田中　昭夫	1000
E38	秋本　協徳	3000
E38	田中　英征	1000
E38	早川　昭男	5000
E38	横山　正夫	1000
E38	石川　勝行	1000
E39	和田　和年	1000
E39	井上　孝洋	1000
E39	上田　順二	1000
E39	岡田　憲一	1000
E39	實近　裕司	1000
E41	西方　幹治	1000
E41	森本　裕典	1000
E41	神杉　常夫	1000
E42	林　巧	1000
E42	井上　栄	1000
E42	福本　速水	1000
E42	志熊　孝夫	2000
E43	川村　満	1000
E43	中川　清一	1000
E43	兼清　博史	1000
E44	柳　知明	1000
E45	大楽　恭也	1000
E46	河本　滝美	1000
E46	松本　敏勝	1000
E47	清木　高治	1000
E47	市川　雅明	2000
E50	高松裕一郎	1000
E61	高松　勇雄	1000
EH5	近藤　誠	3000
IH22	國弘　貴之	1000
IH22	寶迫　政人	1000
T42	大畠　裕治	1000
T46	三戸　七郎	1000

90周年記念行事基金御礼

下記の方々より、ご協力を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。この募金は引続き募集いたしますので、何卒、ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成22年４月１日～平成23年３月31日

卒年	氏名	寄附額
東燃石油化学支部		10000
東ソー四日市支部		8000
JX日鉱日石エネルギー支部		10000
日立笠戸支部		50000
下松市役所支部		30000
日本精蝋支部		6000
東ソー支部		50000
キリンビール支部		20000
下松工業高等学校		85000
東海支部		20000
柳井支部		6000
BNW		16407
野田建設㈱		10000
㈱カケン		10000
㈱ムネスエ		10000
石部	薫（15代）	10000
伊藤	健男（13代）	10000
兼田	康史（17代）	10000
鈴木	基彦（18代）	10000
竹中	清（10代）	30000
藤井	博明（19代）	10000
村上	正美（20代）	30000
M34クラス会		11000
M35クラス会		20000
M8	北村 佐一	2000
M9	中屋 正二	12000
M12	有間 緑	16000
M14	三奈木秋二	2000
M14	山本 尚布	2000
M14	森重 明	2000
M15	徳本 正	2000
M15	中村 清一	2000
M15	藤田 信昌	2000
M16	増本 安男	10000
M16	田中 博	2000
M16	橋本 三男	2000
M16	沼本 正治	2000
M16	中岡 浩史	2000
M16	内田 吉重	2000
M17	石永 博	2000
M17	石原 佳雄	10000
M17	戸村 勝信	8000
M17	谷口 文男	2000
M17	近道 正美	2000
M17	三木 學	6000
M17	石原 佳雄	10000
M18	中村 恒亮	2000
M18	田村 敬次	2000
M18	竹村 一郎	2000
M18	原田 務	2000
M18	松原 進	2000
M18	藤井 寛之	3000
M19	平岡孝次郎	2000
M19	林 悟	2000
M20	白石 直人	2000
M20	加藤 清彦	2000
M20	益田弘三郎	2000
M20	内富 英穂	2000
M20	中川 陽	4000
M21	嶋田 隆雄	2000
M23	近棟 昭久	2000
M23	須磨 祐一	2000
M23	厚井 正毅	2000
M23	武居 恒夫	2000
M23	藤原 肇	2000
M23	武居 博	2000
M23	徳本 儀一	2000
M23	山田 信義	2000
M24	田中 正志	2000
M25	岡村 信男	2000
M25	小林 徹	4000
M25	松本 輝之	2000
M25	弘中 辰男	2000
M25	岩本 正孝	2000
M25	小林 正	2000
M25	藤井 芳男	6000
M26	金近 栄	2000
M26	松本 憲治	2000
M26	平谷 友治	4000
M27	浅田 勇	2000
M27	原田 二郎	2000
M27	福田 善美	2000
M27	浅本 宣之雄	2000
M27	清水 英康	2000
M27	石川 喜康	2000
M27	山時 英男	2000
M27	田村 英之	4000
M27	丸山 晴康	2000
M27	相本 晴信	2000
M28	島田 昭治	4000
M28	国重 保	2000
M28	大川 洵	2000
M28	矢野 英晴	2000
M28	松永 幹生	8000
M28	宇田 利男	2000
M28	目 勝三	2000
M28	戸村 武	2000
M28	藤元 正俊	2000
M28	橋本 育茲	2000
M28	小川 荘六	2000
M28	金永 哲夫	2000
M29	足立 元	2000
M29	片山 忠義	2000
M29	柳 芳男	4000
M29	鹿村 佳	2000
M29	井内 昭	2000
M30	山村 茂晴	2000
M30	松根 巖	2000
M30	米田 嘉一	2000
M30	松田 正之	8000
M30	小林 信岩	2000
M30	山井 良	2000
M30	原田 明	2000
M30	中原 俊彦	2000
M30	金本 信吾	2000
M30	飴谷 一郎	2000
M30	宮本 春美	2000
M30	二町 健二	2000
M31	早川 元夫	2000
M31	高山 興昇	2000
M31	宮本 光泰	2000
M31	守田 章	2000
M31	国本 道博	2000
M31	棚田 貫	10000
M31	廣中 勲	2000
M32	武田 雄	2000
M32	村井 康訓	2000
M32	管 貞夫	2000
M32	岡村啓一郎	2000
M32	鶴田 守	2000
M32	山根 紀明	2000
M32	吉村 良人	2000
M32	有吉 洋勝	2000
M32	林 通生	6000
M32	斉藤 正行	2000
M32	藤中 健次	2000
M32	内藤 俊明	2000
M33	長谷川春雄	2000
M33	中野 和孝	2000
M33	林 修	2000
M33	棟居 長年	2000
M33	広戸 一見	2000
M33	山崎 利彦	2000
M33	松野 和行	50000
M33	渡邉 勲	2000
M33	東南 浩	2000
M33	河野 清	2000
M34	杉尾 栄治	2000
M34	伊川 敏彦	2000
M34	宮本 昭夫	6000
M34	田村 鞆利	4000
M34	佐々木勝紀	2000
M34	宮川 豊	2000
M34	山本 和昭	2000
M34	池本 幸一	2000
M34	廣永 龍男	2000
M34	江村 克己	6000
M34	林 亨	2000
M34	石川 和男	2000
M35	橋本 暢公	2000
M35	波多野 智	2000
M35	藤川 悟義	2000
M35	山縣 健治	2000
M35	清木 一男	2000
M35	安田 務	2000
M35	常森 宣彦	2000
M35	海野 征夫	2000
M35	槌尾 博之	20000
M36	三原 一彦	4000
M36	村井 俊夫	2000
M36	小川 博己	2000
M36	山本 和男	2000
M36	福谷 輝雄	2000
M36	松原 邦夫	2000
M36	小川 博己	2000
M36	三原 一彦	4000
M37	久本 徳夫	2000
M37	木船 勲	2000
M37	大田 昇	2000
M37	大畑 善宏	2000
M37	関谷 昌人	2000
M37	窪田 史郎	2000
M37	福田 忠義	2000
M37	河本 信幸	2000
M38	石川 公明	2000
M38	木下 嗣生	2000
M38	西村 忠夫	2000
M38	池永 文人	2000
M38	山岡 弘幸	2000
M38	守田 照正	2000
M38	藤井 二郎	2000
M38	宮田 勝光	2000
M38	中本 英雄	2000
M38	相本 忠昭	2000
M38	北中 武徳	2000
M39	久保 富彦	2000
M39	橋本 修一	2000
M39	広実 彰二	2000
M39	道源 勝人	2000
M39	桜井 洋二	2000
M39	鍵谷 郁夫	2000
M39	松田 則光	2000
M40	松井 和則	2000
M40	山本 敏夫	2000
M40	山本 勝一	2000
M40	久富 鐵夫	2000
M40	中村 丈夫	2000
M40	山本 勝一	2000
M40	堀本 季夫	2000
M40	中村 丈夫	2000
M40	坂本 敏夫	2000
M40	山本 勝一	2000
M40	河野 松男	2000
M40	藤麻 幸雄	2000
M40	宮内 昭寿	2000
M40	石川 義則	2000
M40	堀 勝敏	2000
M40	末廣 栄治	2000
M40	宮田 彰	5000
M40	福島 徹	4000
M40	須田 重幸	4000
M40	吉兼 哲夫	4000
M40	寺戸 秀男	4000
M41	船本 秀幸	2000
M41	山根 和敏	2000
M41	善本 新平	2000
M41	山崎 隆生	2000
M41	神田 佳郎	2000
M41	石崎 昭	2000
M42	柳原 正典	2000
M42	福田 朗	2000
M42	上野 安志	2000
M42	土谷 康夫	2000
M42	岡野 保雄	2000
M42	福島 操	2000
M43	藤山 重幸	2000
M43	林 功	2000
M43	岩崎 寛治	2000
M44	彦坂 敏昭	2000
M44	岩村 修	2000
M45	梶田 伸雄	2000
M45	清水 早美	2000
M45	藤井 義雄	2000
M45	藤井 和良	6000
M47	徳吉 忠	2000
M47	江島 龍夫	2000
M47	鈴木育次郎	10000
M47	谷村 直隆	10000
M48	徳原 英昭	2000
M48	中村 久信	2000
M51	門川 光宏	6000
M54	木原 健一	2000
M54	中村 明夫	3000
M54	織田 豊	3000
M54	下村 孝宏	2000
M58	森野 健一	2000

卒年	氏名	寄附額
M63	棟近　英治	2000
MH2	橋本　雅央	2000
MH13	矢野　力	2000
MH15	打越勇喜夫	2000
MH20	森野　裕一太	2000
MH21	竹村　輝	2000
MH21	河添　幸次	2000
MH21	鬼武　伸明朗	2000
MH21	吉元　崇人	2000
C5	河村　一嘉市	4000
C12	吉広　武雄	2000
C12	金政　春治	2000
C14	八木　耕平	2000
C15	奥野　盛人	2000
C15	年光　眞太郎	2000
C15	山本　玄	10000
C16	高橋　龍一	2000
C16	今井　誠一	8000
C16	武重　栄	2000
C16	國居　稔	2000
C17	長井　成文	2000
C18	亀田　渡	8000
C18	轟　安男	10000
C18	増本　年信	30000
C20	幡部　郎	8000
C20	大谷　嚴太	2000
C20	梅田　強平	2000
C20	小西　守	2000
C20	瀬尾　進	4000
C20	中元　正	2000
C20	田中　信	2000
C21	小川　馨三	4000
C21	笹谷　孝則	2000
C21	武居　輝二	2000
C23	中山　秀夫	2000
C23	岩古　敏規	2000
C23	古谷　秀康	2000
C23	河田　良平	2000
C24	赤瀬　春之	2000
C24	中島　清登	2000
C25	中川　正夫	2000
C25	山根　正美	2000
C25	小笠原雄次	2000
C25	松村　隆	2000
C25	武居　博	2000
C26	吉岡　經孔	2000
C26	田代　良也	2000
C26	松村　祥一郎	2000
C26	渡辺　英男	2000
C26	藤谷　智志	2000
C26	山田　進	2000
C26	梅光　忠義	2000
C27	河村　道男	2000
C27	野中　耕一	4000
C27	藤本　和也	2000
C27	西岡　忠一	2000
C27	藤岡　安信	2000
C27	友森　正信	4000
C28	礒部　雅夫	2000
C28	佐川　雄美	2000
C28	田中　忠	2000
C28	弘実子　法造	2000
C28	金山　剛男	2000
C28	山本　惇	2000
C28	大州　博康	10000
C28	藤田　敏之	2000
C28	伊藤　洋子	2000
C29	下村　和美	2000
C29	原田　正夫	2000

卒年	氏名	寄附額
C29	清水　博晴	2000
C29	石村　進	2000
C29	岡　亮宏	2000
C29	中野　利明	2000
C29	阿川　悟	2000
C29	野田　光秋	2000
C29	西村　清	2000
C29	福永　幸子	2000
C29	岩本　利彦	2000
C29	有吉　安治	2000
C30	廣中　典夫	2000
C30	戸崎　和夫	2000
C30	佐藤　通	2000
C30	小川　清	2000
C30	渡邉　秀夫	2000
C30	小林　省三	2000
C30	蕗　利彦	2000
C31	小笠原　奨	2000
C31	清木　元博	2000
C31	末岡　治明	2000
C31	田村　利明	2000
C32	毎田　俊美	2000
C32	小林　勝	2000
C32	河村　一	2000
C32	宮本　圭子	2000
C32	武居　隆夫	2000
C32	配川　晃	2000
C33	白井　隆行	2000
C33	髙山　佳昌	2000
C33	田中　静子	2000
C33	石川　達紘	50000
C33	鑑光　博正	2000
C33	藤井　敦	2000
C33	椎木　五三	2000
C33	河口　俊彦	2000
C33	萬徳　晴男	2000
C33	井上　賢治	6000
C34	野田　桒典	4000
C34	高村　幸江	2000
C34	林　光恵	2000
C34	新田　寛	2000
C34	大田　孝	2000
C34	橋本　信之	2000
C34	清木　崇	2000
C34	橋本　英子	2000
C34	大塚　強夫	4000
C34	轟　きよの	4000
C34	松本　勇	2000
C34	田浦　朝子	2000
C34	土肥　敏郎	2000
C34	高濱　照彦	2000
C34	伊藤　良美	2000
C34	足立　恵子	2000
C34	小林　哲士	2000
C35	岡　登志美	2000
C35	野本　紀久	2000
C35	松野　哲夫	2000
C35	宇智田俊一郎	2000
C35	岡本　正輔	2000
C35	尾崎　肇	2000
C35	松村　武士	2000
C35	三好　一成	2000
C35	白倉　稔久	2000
C35	中村　巖	2000
C35	梅本　貞則	2000
C35	中山　哲男	2000
C36	吉谷　勝美	2000
C36	守田　隆司	2000
C36	松村　豪夫	2000

卒年	氏名	寄附額
C36	山崎　峻	2000
C36	内山　洋彦	2000
C36	竹重　浩佑	2000
C36	宮田　治美	2000
C36	山本　高平	2000
C37	松野　勤	10000
C37	松村　昭憲	2000
C37	槻舘　憲之	2000
C37	藤井　久世	2000
C37	中村　忠士	4000
C37	杉本　勝行	2000
C37	藤井　正人	10000
C38	弘中　幸夫	2000
C38	関　信行	2000
C38	守友　健一	2000
C38	山本　一夫	2000
C38	田中　秀雄	2000
C38	村岡　教治	2000
C38	松野　瑞輝	2000
C39	丸山　喜三	2000
C39	吉原　和弘	2000
C39	金近　弘子	2000
C39	大浦　義明	2000
C39	小田　充	2000
C39	武居　庄治	2000
C39	仁科　昭行	2000
C39	木原　直子	2000
C39	山本　邦雄	2000
C39	西村　秀俊	6000
C39	松尾　勝美	2000
C39	宝迫　和美	2000
C39	岡本　保夫	4000
C39	藤田　文明	4000
C39	小松　昭人	2000
C39	笹本　正明	2000
C39	河村　正浩	100000
C40	栗田　一郎	2000
C40	藤岡　芳雄	2000
C40	二藤部　毅	2000
C40	宮本　新二	2000
C40	山崎　和子	2000
C40	井上　則男	2000
C40	貝塚　義博	2000
C40	酒井　光正	2000
C40	藤尾　澄人	2000
C40	藤井　睦夫	2000
C40	粕川　實則	2000
C40	藤井　二郎	4000
C41	埰　輝男	2000
C42	福永知佐子	2000
C42	河野　久治	4000
C42	西村　実	2000
C42	国居　則次	2000
C43	原田　佳典	2000
C43	山部　進	2000
C44	小田　洋子	2000
C44	石田　和久	4000
C44	井川　孝	2000
C44	大下　道則	2000
C44	山本　哲夫	2000
C45	河村　明美	2000
C45	反田　快舟	2000
C45	中村　孝	2000
C46	升見　克己	2000
C47	山本　泉	4000
C47	松原　正雄	10000
C52	西本　正明	3000
C53	今地　昭彦	2000
C56	吉田三世子	2000

卒年	氏名	寄附額
CH1	網本　和彦	2000
CH13	山岡　幸宏	2000
CH13	河野　公彦	2000
E38	田中　昭夫	2000
E38	秋本　協徳	6000
E38	田中　英征	2000
E38	早川　昭男	10000
E38	横山　正夫	2000
E38	石川　勝行	2000
E39	和田　和年	2000
E39	井上　孝洋	2000
E39	小林　宏明	2000
E39	上田　順二	4000
E39	岡田　憲一	2000
E39	實近　裕司	2000
E40	堀野　政則	10000
E40	中本　好昭	5000
E40	海田　哲男	4000
E40	木村　隆男	4000
E40	富岡　浩	4000
E40	伊藤　淳夫	2000
E40	糸川　憲二	2000
E40	岡田　信	2000
E40	金子　正巳	2000
E40	沓野　博明	2000
E40	竹尾　健治	2000
E40	中村　吉朗	2000
E40	水本　逸馬	2000
E41	西方　幹治	2000
E41	森本　裕典	2000
E41	神杉　常夫	2000
E41	西山　義明	2000
E42	林　巧	2000
E42	井上　栄	2000
E42	福本　速水	2000
E42	山口　憲男	2000
E42	志熊　孝夫	2000
E42	川口　実	2000
E43	川村　満	2000
E43	中川　清一	2000
E43	広瀬　徹	2000
E43	兼清　博史	2000
E43	中山　正三	2000
E44	柳　知明	2000
E45	大楽　恭也	2000
E45	河村　正美	3000
E46	藤本　康弘	2000
E46	河本　滝美	2000
E46	松本　敏勝	2000
E46	河野　武俊	2000
E47	清木　高治	2000
E47	市川　雅明	2000
E47	松村　和明	10000
E47	高田　敏郎	10000
E49	片山　洋志	2000
E50	高松裕一郎	2000
E54	朝野　満代	2000
E55	実近　利和	2000
E60	原田　英典	3000
E61	高松　勇雄	2000
EH5	近藤　誠	4000
EH3	高杉　祐介	3000
IH20	藤村　海飛	2000
IH22	國弘　貴之	2000
IH22	寶迫　政人	2000
SH12	藤井　崇文	3000
T42	大畠　裕治	2000
T46	三戸　七郎	2000

平成22年度本部行事

第19回七彩会ゴルフ大会

平成22年10月６日　白須那カントリークラブ
参加者　71名　　優勝（C41）野上　久

親睦麻雀大会

平成23年２月６日　下松工業会館
参加者　28名　　優勝（M38）山形捷児

親睦ボウリング大会

平成23年３月８日　くだまつスポーツセンター
参加者　45名　　優勝（M38）相本康雄

支　部　総　会

東京支部

平成22年11月28日
会場　霞ヶ関ビル「東海大学校友会館」
岡野支部長　含め33名

東海支部

平成22年９月25日
会場　山王温泉「喜多の湯」
石原支部長　含め９名

広島支部

平成22年10月16日
会場　広島ガーデンパレス「日本料理 ひろ里」
江村支部長　含め９名

＝ 県　内 ＝

下松支部

平成22年６月17日
会場　下松工業会館
石川支部長　含め33名

光支部

平成22年７月３日
会場　ホテル松原屋
林支部長　含め38名

熊毛支部

平成22年７月４日
会場　勝間ふれあいセンター
徳原支部長　含め15名

周南支部

平成22年10月30日
会場　ホテル「ザ・グラマシー」
山本支部長　含め29名

周防大島支部

平成22年12月４日
会場　かわい寿し
川端支部長　含め14名

岩国支部

平成22年12月４日
会場　開花亭
古本支部長　含め13名

クラス会開催

C39クラス会

〈日時〉　平成22年５月14日
〈場所〉　下松市「小桜」　〈参加者〉　28名
今回は、同期の河村正浩副会長が会長への就任ということで開催する。尚今回は、担当であった福多敏男先生を案内する予定でありましたが、健康上の都合により欠席となりました。

M35クラス会

〈日時〉　平成22年11月26日
〈場所〉　下松工業会館　〈参加者〉　24名
今年は「卒業50周年」、「古希」でもあり、それを記念する同窓会として企画することにした。人生の第二ステージは、自分の趣味を楽しんでいる者、畑仕事に精を出している者、ボランティア活動をする者、いまだ現役で頑張っている者等々、人生色々である。

C34クラス会

〈日時〉　平成22年６月23～24日
〈場所〉　箱根強羅温泉「メルヴィエール箱根強羅」
〈参加者〉　23名
雨にも会わず「強羅公園」のバラを愛でた後、ホテルで全員18歳に戻り「古希」を祝いました。今回も何十年ぶりに会う友と出会え、懐旧談が弾みました。

M34クラス会

〈日時〉　平成22年５月15日
〈場所〉　下松工業会館　〈参加者〉　16名
参加者は16名で余り多くはありませんが、昨年より増加していますので来年が楽しみです。地元で開催した関係上、幹事は、廣永、八木、黒田で行いました。

C35クラス会

〈日時〉　平成22年４月５日
〈場所〉　国民宿舎「大城」　〈参加者〉　38名
参加者達の懇談が始まるのに時間は不要。クラスメートという固い絆がいつまでも朽ち褪せることが無いことを確信した。

社会人になって思うこと

早く環境に慣れて

SH23　清木　史彦

私が社会人になって一番最初に思ったことは、学生と社会人とでは自分が置かれる立場がまったく違うということでした。

学生はお金を払って授業を受けて知識や技能を身に付けていくが、社会人は会社からお金をもらって仕事をし社会に貢献していくことになるので、自分の行動一つ一つに責任を持たなくてはならず、これからそのことを私も社会人の一員として自覚していかなくてはならないなと思いました。

私はまだ社会人としての立場になかなか慣れることができず色々悩むこともあるが、これからちょっとずつこの環境に慣れていき、立派な社会人となれるよう努力していきたいです。

私は溶接作業などの専門的な技能、知識が必要となる仕事をすることになるのだが、その技能、知識もまだまだ未熟で作業がなかなか上手くいかずそんな自分に腹が立ってしまうこともよくあります。

だからこれから仕事をしていく中で様々な技能や知識を吸収し技術者としても成長していけるよう日々努力していきたいです。

まだ社会人となって日も浅くまだまだわからないことばかりですが、これから頑張っていきたいです。

高校の友は一生の友

IH23　戸﨑　祐太

私が社会人になって思った事は、自分が思っていたよりも社会人になるという事は大変だという事です。学生の時は、先生や家族に「就職してからの方が、もっと大変だ。」と言われていたのを覚えています。ですが、その時は全然信じていませんでした。今思えば、高校の時もっと勉強を頑張って、もっと思い出をつくっておけば良かったと思います。社会人になると学生の時よりも学ぶ事が多く責任も重くなります。私の場合は仕事が三交替で普段と同じ生活リズムの日があれば、昼夜逆転の日もあります。三交替には今でも慣れていません。先生や家族の言うとおり社会人は大変です。しかし、辛いわけではありません。会社の先輩方は優しいし、仕事にもやりがいを感じます。そして何より、高校時代の友達の支えがあります。共に励まし合いどんな事でも乗り越えていける気がします。やはり高校で出来た友達は一生の友達だと思います。なので、後輩のみんなには高校生活の一日一日を楽しんで、充実させて、悔いの残らないようにしてほしいと思います。これからまだまだ長い人生を共に頑張りたいです。

自分にしか出来ないものを探して

IH23　山田　将士

私は、自分が社会人になってから、少しずつ自分自身の役割をこなせるよう、日々努力を重ねています。社会人とはこれまでの自分とは何が異なっているかなどまだまだ分からないですが、お金をもらって、自分のしたことを評価していただいた結果だと思いました。

そして、評価は毎日されていて、共通のはかりがあるわけでなく、その人がそれぞれできることを見てもらえている。評価のつけ方が一人一人違うというのが社会人での違いということではないかと思いました。

千差万別で多すぎるといってもいいほどの人がいて、同じところで張り合ってもその人の方がそのことには、たけていることが多いからこそ、自分が、誰にも負けてない、これは自分にしかできない立場だというところを探していくことが大切だと思いました。

例をあげるなら、今の自分たちになら、この先輩の話が自分の趣味に合っていて楽しく話し合えるとか、この人が次はこんなことをするからこれをしたら楽に出来るかななどと、対個人でもいいから、自分のその職場の居場所が大切になってくると社会人になって、様々な年齢の人を見て再確認しました。

社会人になって

CH23　田中　　俊

高校を卒業し、社会人としての生活が始まり早くも２ヶ月が過ぎました。

この２ヶ月で社会人とは、責任を持って行動できなければいけないと感じました。

それは、まず自分が車の運転をする時に感じました。

第一に安全を心掛けて自分の身を守るだけでなく周りのドライバーや歩行者に気をふるまい運転する事が必要になります。

今までの自転車とは違い、自分の、同乗者の、周りの人の命が自分の握っているハンドルさばき一つで無くなってしまうからです。

なので今、自分が握っているハンドルにはたくさんの命が乗っかっているという責任を感じてその責任を果たさなければいけません。

また自分は就職して仕事への責任も、とても大事だと思いました。

周りの先輩方は、仕事に対する心掛けがとても強く遅刻も無く体を壊して休むという事もなくとても責任のある人達だと思いました。

自分もそんな人達のいる職場で働けるので責任のある社会人になります。

みなさんも、家族、友達、好きな人など自分の周りの人達に迷惑を掛けない様な責任ある人になって下さい。

謹んでご冥福をお祈りいたします

社団法人　下松工業会

（平成22年度会報No.41号記載以降
事務局に連絡があった方のみ）

正会員物故者

卒　年	氏　名	住　所
M3	大谷　専治	下松市
M9	大谷　龍祐	三鷹市
M12	山形　良二	高松市
M14	兼重　定夫	周南市
M14	田原　保	光市
M15	岡村　賢治	新宿区
M17	山下　勇	周南市
M18	青木　廣	周南市
M20	石丸　守人	防府市
M20	山本　勝芳	下松市
M23	三牧　功	堺市
M23	梅本　輝二	横須賀市
M23	久野　英夫	周南市
M25	清木日出男	横浜市
M25	藤井　芳男	防府市
M25	倉上　哲明	さいたま市
M26	橋本　三夫	下松市
M26	足達　広芳	周南市
M27	吉本　隆成	宇部市
M27	原田十四士	下松市
M27	江本　正明	周南市
M27	丸山　晴康	下松市
M27	棟近　満	光市
M28	好川　敬己	萩市
M31	勝本　恒夫	田布施町
M34	毛頭　和則	松戸市
M35	田中佐久雄	入間市
M36	兼森　昭佳	周南市
M36	山本　文生	光市
C8	田村　定男	広島市
C8	松尾　佑	横浜市
C13	藤田　俊一	広島市
C15	玉野　忠治	扶桑町
C16	今井　龍一	周南市
C16	山田　義人	周南市
C16	磯村　英樹	世田谷区
C18	藤村　武男	光市
C18	吉原　正徳	下松市
C18	原田　恒雄	周南市
C20	山根　康男	玖珂町
C20	幡部　年信	周南市
C20	藤田　茂喜	玖珂町
C20	東　昭生	周南市
C21	小川　勉	周南市
C23	油井　義郎	岩国市
C24	中島　清登	北九州市
C24	小田垣武夫	下松市
C25	岩本　一男	下松市
C25	浜野　進	光市
C25	平野　一夫	周南市
C27	田村　剛士	周南市
C28	田村　真澄	東広島市
C29	川本　浩	下松市
C30	手嶋　茂明	松戸市
C33	吉田　淳二	能勢町
C38	橋本　孝	下松市
C39	佐藤　充宏	袖ヶ浦市
C40	池内　哲郎	横浜市
C50	長門　信一	光市
E43	中川　清市	光市

特別会員物故者

	氏　名	住　所
化学	大畑　文作	下松市
機械	中村　恒亮	周南市
体育	柳井　文治	下松市

受章おめでとうございます

瑞宝双光章　C20　瀬尾　進　福山市

受賞おめでとうございます

内閣府大臣賞	M33	田中秀夫
法務大臣表彰	M44	蔵田幸男
山口県教委教育長賞	C40	小林亜双　光市 （小林孝二）
山口川柳吟社会長賞	C36	磯部碧舟　光市 （磯部征夫）
県川柳大会賞	C40	秋貞敏子　周南市

事務局からのお知らせ

平成24年度定時総会

と　　き　平成24年５月19日（土）午後1時～
と こ ろ　下松市大字豊井1247番地（下松駅南）
会　　場　きらぼし館（きらぼしホール）
　多数の参加をお待ちしています。

第20回七彩会ゴルフ大会ご案内

日　　時　平成23年10月５日（水）
会　　場　中須ゴルフ倶楽部
スタート　アウト・イン　8時33分（20組）
参 加 費　3,000円
競技方法　ダブルペリア方式

母校創立90周年記念事業

記 念 式 典　平成23年11月18日　母校於いて
記念祝賀会　平成23年11月26日　ザ・グラマシー
記 念 講 演　未定（日時・場所）

七彩会麻雀大会

日　　時　平成24年２月上旬
会　　場　下松工業会館
会　　費　2,000円

七彩会ボウリング大会

日　　時　平成24年３月上旬
会　　場　くだまつボウリングセンター
会　　費　1,000円（くつ代自己負担）

＊ゴルフ・マージャン・ボウリングに参加希望の方は事前にご連絡ください。詳しいご案内をいたします。

平成23年度就任支部長

日本ゼオン支部	CH4	古賀	玉祥
武田薬品工業支部	C57	宝迫	清人
東洋鋼鈑支部	M48	広澤	和夫
宇部興産機械支部	MH5	小川	誠
JX日鉱日石エネルギー支部	C48	吉国	進

お願い

母校創立90周年記念事業年に成り、（平成23年11月）募金活動（平成23年９月30日で終了）への暖かいご理解とご支援をお願い申し上げます。また、運営基金・年会費のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。また、年会費を個人・地域支部会員で前納されている方は年会費の欄を二重線で消していますが、失礼ですが、消し忘れがありましたら消してください。よろしくお願いします。

▼下記については事務局にご連絡ください。

1．会員名簿の内容に変更がありました場合、姓・現住所の変更等必ずご一報ください。
2．会員で叙勲及びこれらに準ずる受章（受賞）をされた方ありましたらご連絡ください。
3．会員の方のご不幸がありましたらご連絡ください。
4．クラス名簿、支部別名簿、タックシールはすべて対応ができますので必要な場合はお気軽にお申し出ください。
　クラス会や支部総会案内の作成、発送の事務も行いますのでご利用ください（但し、実費はいただきます）。

“勧誘・振込詐欺にご注意”

母校・同窓会等の名を借りた、振込詐欺・新聞広告や資格取得の勧誘或いは名簿作成、同窓会名鑑の企画と言って、母校・同窓会以外の不詳団体から、郵便、電話があると聞いております。電話での勧誘並びに、母校又は同窓会の署名（学校長又は会長名）のないものは一切受け付けないでください。

支部発足にご協力ください

（社）下松工業会の充実を図るには地域の要になる支部の存在は不可欠です。下記地区で発足にご協力頂ける方は是非とも下松工業会事務局へご一報をお願いします。なお、何も下記地域に限定するものではありません。
岡山県、愛媛県、香川県、宇部市、山陽小野田市、下関市

編　集　後　記

会報は親しみやすく、読みやすいものにしたいと、そして一人でも多くの皆さんに登場して頂きたいと思っています。会報の充実を図るために皆様方からの多くの原稿を（消息、トピックス、エッセイ等）をお待ちしています。

事務局